

事務事業名	地域歴史資料整理・保存事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和46年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
個人などが所蔵する地域の歴史的資料		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	1,890	2,013	2,221
	人件費	1,502	1,538	1,538
目 的	総事業費	3,392	3,551	3,759
地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
手段、手法【実施手法：直営】	市債			0
	その他			0
	一般財源			2,221
	合 計			2,221

・中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。 ・保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換（複製作成）します。 ・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。	活動指標1	名称	マイクロフィルム撮影コマ数		単位	コマ
		内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	4,000	4,000	4,000
			実 績	3,633	3,689	―――
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	製本数		単位	冊
		内容説明	各資料を保存のため製本した冊数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	30	30	30
			実 績	29	28	―――
課 題	活動指標3	名称	史料の記録作業等点数		単位	点
		内容説明	記録と保存作業（整理・目録化・点検・分類）を行った点数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	300	300	500
			実 績	892	897	―――
・個人が所蔵する資料（昭和48年頃に近世文書を主な対象として実施した悉皆調査時に簡単な資料整理を行ったもの）について、今後の長期保存を目的とした再整理作業を実施する必要があります。 ・個人が所蔵する近・現代資料についても、資料保存や活用についての相談や依頼があり、それらについても調査・保存・整理作業を実施する必要があります。	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定			
			実 績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	各家が所蔵している資料の整理・目録化を計画的に進めます。また、資料の解読作業および資料の複製を行い、資料利用の道を開きます。毎年一定の予算により一定量の整理を継続的に進めるとともに、資料の媒体変換も予算に応じ、着実に進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、地域の歴史的資料を市民共有の財産として保存・活用するものであり、個人が所蔵している歴史的価値の高い資料の散逸・廃棄を避けるため、今後も継続的に市が関与する必要性があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、歴史資料の目録を整備するとともに、資料の内容や状態、利用の状況等に応じ、適切な方法で保存を行っており、これを継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業の経費は、歴史資料整理に係る謝礼、マイクロフィルム撮影及びCD作製費などとなっており、その額については適正な水準で予算執行しています。また、人件費は、資料を補完する聞き取り調査や所有者からの相談等に対応したものであり、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	地域の歴史資料は市民共有の財産であり、受益・負担は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	地域の歴史的資料の保存・活用に取り組むことで、SDGsの住み続けられるまちに必要な不可欠な技術・経験を伝えることができると考えます。

事務事業名	文化芸術振興事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和28年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	5,862	5,975	8,662		
		人件費	9,763	9,997	14,611		
目 的		総事業費	15,625	15,972	23,273		
市民の文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
			国支出金		0		
			県支出金		0		
			市債		0		
			その他		781		
			一般財源		7,881		
手段、手法【実施手法：直営・委託】		合 計		8,662			
・一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。 ・コミュニティ音楽館を開催します。 ・芸術文化ホールで文化芸術事業（委託）を開催します。 ・SORAアーティスト事業を実施します。 ・文化芸術団体等と連携協力しながら、YAMATO ART100プロジェクトを実施します。		3. 活動内容					
		活動指標1	名称	文化芸術作品の展示日数		単位	日
			内容説明	文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	24	21	15
成 果（効果・予測）	・市民の文化芸術活動の裾野を広げることができます。		実 績	25	21	――	
	活動指標2	名称	コミュニティ音楽館の開催日数		単位	日	
		内容説明	コミュニティセンターで音楽会を開催した日数				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定	15	15	15	
	課 題			実 績	15	14	――
活動指標3			名称	文化芸術事業委託件数		単位	件
			内容説明	（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託した件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定	1	1	1		
より多くの市民に開かれた事業を実施するための方策について、常に検討する必要があります。			実 績	1	1	――	
		活動指標4	名称	YAMATO ART100の開催日数		単位	日
			内容説明	YAMATO ART100として開催した日数			
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
	予 定		100	100	100		
			実 績	100	100	――	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度 Ⅱ：見直しのうえで継続
	すべての市民が、文化芸術を日常の一部として親しむことのできる機会を提供できるよう事業を引き続き実施します。文芸祭については、新たな実施運営方法を検討し実施します。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、文化芸術を創造し、享受する権利を保障するため、すべての市民が文化芸術に触れ、親しむことができる機会を提供するものであり、積極的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	本事業では、様々なジャンルの文化芸術の公演、展覧会を実施、発信していますが、文芸祭については来場者数が低い水準で推移していることから、実施手法を見直すことで、さらなる事業成果を生み出すことができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業の文化芸術イベントに係る業務のうち、民間が効果的、効率的行えるものについては、積極的に委託を推進しています。また、人件費は、文化芸術イベントの運営、文化芸術情報の発信のために要したもので、求められるサービス水準を踏まえると、適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本事業は、すべての市民を対象に文化芸術のイベントを実施しており、受益の公平性および負担は適正と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	本事業で行う文化芸術イベントでは、年齢、性別、国籍の違い、障がいの有無にかかわらず、あらゆる市民が参加できるように企画、運営を行っています。

事務事業名	文化財普及啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	573	506	682	
		人件費	1,866	2,307	2,307	
目 的		総事業費	2,439	2,813	2,989	
市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		682		
		合 計		682		
手段、手法【実施手法：直営】						
文化財愛護講座を開催します。また、文化財案内板などの維持管理を行います。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	文化財愛護講座の開催数			単位	回
	内容説明	文化財愛護講座の回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	1	1	1	
		実 績	1	1	— — —	
活動指標 2	名称	文化財防火デーの消防訓練実施回数			単位	回
	内容説明	郷土民家園で実施する消防訓練の回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	1	1	1	
		実 績	1	1	— — —	
活動指標 3	名称	文化財案内板の維持管理件数			単位	基
	内容説明	維持管理している案内板、標柱の件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	82	82	82	
		実 績	82	82	— — —	
活動指標 4	名称	博物館実習修了者数			単位	人
	内容説明	所定の実習を修了した実習生数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3	5	5	
		実 績	3	5	— — —	
成 果（効果・予測）						
講座の開催、案内板・標柱の適正管理、文化財防火デーの実施などによって、市民の文化財に対する知識や防火意識などを深めることができ、郷土愛が醸成されます。						
課 題						
文化財案内板の老朽化が進んでいるため、補修・建て替えなどが必要です。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	文化財愛護講座および消防訓練等を継続的に実施していくほか、文化財案内板等の修繕は経年劣化の著しいものから計画的に行います。文化財愛護講座や各種行事の開催案内などは、ホームページや広報やまなどの媒体を用いて、広く市民へ周知していきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、郷土の歴史と文化への愛着と理解を深めるために重要な役割を果たしており、市が実施すべき事業として妥当性が高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	文化財愛護講座の開催やホームページでの情報発信など、様々な方法で文化財への理解の深化を図っており、今後も市民に評価されるような企画を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業で設置している文化財案内板は、経費を可能なかぎり抑えるため、計画的かつ効率的に修繕を行っています。人件費については、普及啓発イベントの運営、文化財情報の発信のために要したもので、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民共有の財産である文化財を理解し次世代に継承するための事業であり、受益・負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業への参加方法や周知方法を工夫するなど、事業実施にあたって社会的配慮を十分に行っています。

事務事業名	美術鑑賞推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市立小学校		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	6,157	6,158	2,749
	人件費	3,755	3,845	6,152
目 的	総事業費	9,912	10,003	8,901
美術鑑賞教育の推進を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託】		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		2,749
		合 計		2,749
・美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 ・小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ・ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。				

成 果（効果・予測）	活動指標1	名称	ガイドスタッフ育成研修の開催回数		単位	回
		内容説明	ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	20	20	20
			実 績	20	25	――
・観察力や思考力、コミュニケーション力などを育て、子どもの豊かな情操を養うことができます。	活動指標2	名称	ガイドスタッフを派遣した学校数		単位	校
		内容説明	ガイドスタッフを派遣した学校数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	19	19	19
			実 績	19	19	――
課 題	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定			
			実 績			――
本事業の目的を達成するためには、優秀なガイドスタッフが不可欠であり、こうした人材を継続的、計画的に発掘、育成していく必要があります。	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	市立小学校全校で対話による美術鑑賞授業が円滑に実施できるよう、引き続き、ガイドスタッフの育成、支援を行っていきます。また、新たな実施運営方法を検討し、実施します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	文化芸術振興条例では、次代を担う子どもたちのための施策に注力することを掲げています。本事業はその施策を具現化するため、市、教育委員会、市民、認定NPO法人がそれぞれの役割を果たしながら連携して実施しており、継続的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	優秀なガイドスタッフの育成が進められていることから、各学校の要望に応える鑑賞プログラムの展開が可能となっています。このような人材の更なる育成、発掘のため、認定NPO法人の豊富な知識とノウハウを活用することが事業を実施するうえで最も効果的であると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。
	A	A	B	ガイドスタッフが所属する市民ボランティア組織は、結成から10年経過し、主体的に行える業務も増えてきました。そのため、委託内容を見直すことで、経費を縮減できる余地があると考えられます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	ガイドスタッフは、美術の知識の有無にかかわらず、誰もが応募できるものであることから、受益の偏りはなく、公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ガイドスタッフ募集の際は、市の広報やホームページのほか、動画やSNSを通じて広く情報発信を行いました。

事務事業名	芸術文化ホール管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法				
		劇場・音楽堂等の活性化に関する法律				
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成27年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
やまと芸術文化ホール		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	292,181	293,292	293,804
	人件費	2,629	2,692	2,692
目 的	総事業費	294,810	295,984	296,496
やまと芸術文化ホールの円滑な管理運営を行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・委託・指定管理】 指定管理者による管理運営を行います。			国支出金	0
			県支出金	0
			市債	0
			その他	0
			一般財源	293,804
			合 計	293,804

3. 活動内容

活動指標1	名称	開館日数			単位	日
	内容説明	芸術文化ホールの開館日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	360	359	359	
		実 績	360	359	―――	
活動指標2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	250,000	250,000	250,000	
		実 績	197,546	217,103	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	今後も、指定管理者等と管理運営に関する課題について定期的に情報共有しながら、円滑かつ適切な管理運営の実現に努めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市が設置する芸術文化ホールを円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、定期的に指定管理者と協議を行い、芸術文化ホールの管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。その結果、民間事業者が持つ知識、経験を活かした管理運営が行われており、現在の手法を継続していくことで、十分な成果を得ることができると考えています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費である施設の指定管理料は、第1期指定管理での活動を踏まえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などに要したものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	芸術文化ホールは、全ての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、条例に定める利用料金については、他の公共ホールの料金等を勘案しながら設定しており、利用者の負担は適正なものと考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページや駅の案内板を活用し、積極的な情報提供を行うとともに、バリアフリーコンサートを定期的実施するなど、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会を提供しています。

事務事業名	歴史的公文書収集整理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	公文書館法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和56年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費（単位：千円）					
大和市の行政機関、行政委員会などの保存年限満了公文書（歴史的公文書）			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	2,768	3,016	3,369		
		人件費	2,253	1,538	1,538		
目 的		総事業費	5,021	4,554	4,907		
歴史的公文書を収集・保管し、市民へ情報提供可能な状態とします。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		3,369			
		合 計		3,369			
手段、手法【実施手法：直営】							
・廃棄される公文書のなかから歴史的な価値のある記録を選別・収集し、整理・目録化を行い、保存します。							
・行政刊行物を収集・保存します。							
・歴史的公文書のうち必要な資料については媒体変換（複製作成）を行います。							
成 果（効果・予測）							
歴史的公文書が市民共有の知的資源として将来にわたり引き継がれます。あわせて、これまでの行政活動について市民へ説明する責務を果たすことができます。		名称	歴史的公文書の選別実施量			単位	箱数
		内容説明	選別作業の対象とした廃棄公文書の量（文書保存箱数）				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定	100	100	100	
			実 績	122	95	――	
活動指標2	名称	マイクロフィルム化処理のコマ数			単位	コマ数	
	内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定	2,000	2,000	2,000		
		実 績	1,881	1,847	――		
活動指標3	名称	整理済みの資料数（累計）			単位	箱	
	内容説明	整理済みの資料を収納した保存箱数の累計数					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定	1,990	2,110	2,150		
		実 績	1,993	2,047	――		
課題	歴史的公文書の効率的な整理手法を検討するとともに、これらを保管する書庫や閲覧スペースの確保について検討を継続する必要があります。						
	活動指標4	名称				単位	
		内容説明					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定				
	実 績			――			

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	収集した資料の整理作業を継続して進めていきます。					

事務事業名	大和州市史編集発刊事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和46年度		設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費 (単位：千円)			
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	1,274	1,104	1,276
		人件費	9,012	7,690	7,690
目 的		総事業費	10,286	8,794	8,966
市域の歴史についての基礎的な資料・記録・資料評価に関する歴史情報を提供し、市民が地域の歴史探求を行う際の情報提供を行います。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		1,276	
		合 計		1,276	
		手段、手法【実施手法：直営】			
・市域の歴史事象に関する専門家の論文等を掲載した『大和市史研究』を刊行します。 ・市域の歴史資料について解説を加えた『大和市史資料叢書』を刊行します。		3. 活動内容			
		活動指標 1	名称	『大和市史研究』発行回数	
内容説明	『大和市史研究』を発行しています。				
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度
	予 定		0	1	0
成 果（効果・予測）	実 績	0	1	――	
	活動指標 2	名称	『大和市史資料叢書』発行回数		単位
内容説明		『大和市史資料叢書』を発行しています。			
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	0	0
課 題	実 績	1	0	――	
	活動指標 3	名称			単位
内容説明					
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
・在庫切れの図書については、デジタルデータによる情報提供方法について検討する必要があります。提供にあたっては著作権等の取り扱いについて検討する必要があります。	実 績			――	
	活動指標 4	名称			単位
内容説明					
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
・図書に掲載した資料については、利用希望に対応できるように、資料の特性を考慮した収納・保存・活用の方法を検討する必要があります。	実 績			――	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度
	I：現状のまま継続				

事務事業名	文化会館建設基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和47年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費 (単位：千円)			
大和市の文化施設			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	0	2	138
		人件費	751	769	769
目 的		総事業費	751	771	907
文化施設建設等の財源を確保するための基金を適正に管理します。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金			0
		県支出金			0
		市債			0
		その他			138
		一般財源			0
		合 計			138
手段、手法【実施手法：直営】					
・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。					
成 果（効果・予測）					
・文化施設の建設等に寄与します。 ・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。					
課 題					
特にありません。					

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	文化施設の建設、施設充実に資する改築や大規模修繕等の貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	生涯学習振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成14年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)		
市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及活動			5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）	
		事業費	1		17		149	
		人件費	751		769		769	
目 的		総事業費	752		786		918	
市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及を図るための基金を適正に管理します。		7年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		149				
		一般財源		0				
		合 計		149				
手段、手法【実施手法：直営】								
・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。								
成 果（効果・予測）								
・市民の文化芸術、生涯学習の振興、普及活動を促進することができます。 ・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。		活動指標1	名称	寄附金受入れ件数			単位	件
		内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	8	9	10		
			実 績	9	10	――		
活動指標2	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
課 題								
特にありません。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	市民の文化芸術、生涯学習事業を支援するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	文化団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
文化芸術分野の団体		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	3,755	3,845	3,845
目 的	総事業費	3,755	3,845	3,845
文化芸術分野の団体の活動を促進します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・文化芸術分野の団体に対して、運営等に関する指導や助言を行います。 ・市民が主体的に実施する事業に対して、後援及び会場使用等の支援を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容

活動指標1	名称	大和市伝統文化伝承事業実行委員会会議出席回数			単位	回
	内容説明	大和市伝統文化伝承事業実行委員会の会議の出席回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	5	5	5	
		実 績	7	6	―――	
活動指標2	名称	団体等の後援名義使用申請件数			単位	件
	内容説明	市の後援名義使用申請件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	30	30	30	
		実 績	36	41	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	文化芸術団体が、今後も活動を継続していけるよう、引き続き、適切な指導、助言を行っていきます。					

事務事業名	生涯学習振興基金活用支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成15年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市内を中心に活動する市民及び団体			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	750	700	450		
		人件費	1,127	1,154	1,154		
目 的		総事業費	1,877	1,854	1,604		
生涯学習の一環として行われる文化芸術活動を支援します。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		450			
		一般財源		0			
		合 計		450			
手段、手法【実施手法：直営】							
・市民及び団体から提案された事業について、選考会議で審査、選定を行い、生涯学習振興基金を活用して補助金を交付します。		3. 活動内容					
		活動指標1	名称	補助金交付件数		単位	件
内容説明	生涯学習振興補助金の交付件数						
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
	予 定		3	3	4		
実 績	3		3	— — —			
成 果（効果・予測）							
多くの市民の文化芸術等の関心を高めることができます。		活動指標2	名称	選考会議開催回数		単位	回
			内容説明	生涯学習振興補助金選考会議の開催日数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	1	1	1
			実 績	1	1	— — —	
		活動指標3	名称			単位	
			内容説明				
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
	予 定						
実 績			— — —				
課 題		活動指標4	名称			単位	
生涯学習振興基金に依存した事業であるため、原資がなくなったときに、現在のような支援を継続していくべきか検討する必要があります。			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
			実 績			— — —	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度 I：現状のまま継続
	市民、団体が行う文化芸術や生涯学習事業に対して支援を行い、自発的かつ主体的な活動を促進するため、経済的な軽減を図っていきます。				

事務事業名	文化振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成03年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
文化芸術の振興に資する事業		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	80	30	101
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	831	799	870
文化芸術の振興を図るための基金を適正に管理します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。 ・運用益を文化芸術事業の資金として役立てるために、繰り出しを行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		101
		一般財源		0
		合 計		101
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	寄附金受入れ件数	単位 件
		内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	20
			実 績	21
成 果（効果・予測） ・文化芸術の振興のために行う事業を安定的に実施することができます。 ・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 特にありません。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	文化芸術の振興を図る事業を安定的に実施するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	文化財保護管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市内の文化財		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	775	976	1,923
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	1,526	1,745	2,692
文化財保護に関する事業を円滑に行います。 手段、手法【実施手法：直営】 ・文化財保護に係る庶務事務を行います。 ・県内文化財保護部局との連絡調整を行います。 ・文化財調査報告書の販売を管理します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		80
		一般財源		1,843
		合 計		1,923
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	報告書販売数	単位 冊
		内容説明	年間の販売冊数	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	200
			実 績	69
			7年度	100
成 果（効果・予測） ・各種文化財保護業務が円滑に行われます。 ・県内文化財保護部局との連携が円滑に行われます。 ・報告書の販売が適切に行われます。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
			7年度	---
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
			7年度	---
課 題 特にありません。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
			7年度	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	文化財保護に関わる事務全体を円滑に進めるための基礎となっており、今後も継続していきます。					

事務事業名	文化財保護審議会等運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和41年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市内の文化財、指定重要文化財		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	430	423	441
	人件費	1,502	1,538	1,538
目 的	総事業費	1,932	1,961	1,979
市内の文化財、指定重要文化財の管理を適切に行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 文化財保護審議会等で文化財の指定等の重要事項を審議します。文化財保護指導委員は指定文化財の巡回調査等の地域活動を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		441
		合 計		441
3. 活動内容				
活動指標1	名称	市指定重要文化財指定件数		単位 件
	内容説明	所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定		
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定	32	32
		実 績	32	— — —
活動指標2	名称	審議会開催数		単位 回
	内容説明	指定管理運営状況の評価や指定候補文化財の調査状況の審議等		
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定	2	2
		実 績	2	— — —
活動指標3	名称	巡回調査件数		単位 件
	内容説明	指定文化財に対する巡回件数		
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定	52	52
		実 績	52	— — —
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		— — —
課 題				
地域の伝統・文化・文化財に精通した文化財保護指導委員を10地域から選任するのは難しく、今後検討が必要です。	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。			

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。					

事務事業名	埋蔵文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
		神奈川県文化財保護条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和35年度				設定無し

2. 事務事業の概要										
対 象		総事業費 (単位：千円)								
市内の周知の埋蔵文化財包蔵地で開発行為等の事業を行う個人・事業者等		5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）				
		事業費		6,357		7,447		8,347		
		人件費		10,514		10,766		10,766		
目 的		総事業費		16,871		18,213		19,113		
市内に存在する埋蔵文化財保護のため、開発行為等で発掘される埋蔵文化財を記録・保存します。		7年度事業費（予算額）財源内訳								
		国支出金		2,000						
		県支出金		666						
		市債		0						
		その他		0						
		一般財源		5,681						
		合 計		8,347						
手段、手法【実施手法：直営】										
・文化財保護法にもとづく埋蔵文化財関係届出書類の受理・送付を行うとともに現状調査及び事業者との協議を行います(県委譲事務)。 ・遺跡地図を作製し、事業者等が閲覧できるように周知します。 ・発掘調査を実施し、出土物の資料整理、報告書の刊行をします。 ・石器・土器などを分類整理し閲覧・活用できるようにします。		3. 活動内容								
		活動指標1	名称	法第92条、第93条、第94条関係事務件数				単位	件	
			内容説明		民間事業者・国・地方公共団体が行う開発行為に伴う手続き					
			指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度		
予 定	100			100		100				
成 果（効果・予測）	実 績	148		126		――				
	活動指標2	名称	発掘調査件数				単位	件		
内容説明		市直営調査の件数								
指標値		5年度		6年度（当該年度）		7年度				
		予 定	15		15		15			
課 題	実 績	22		16		――				
	活動指標3	名称	埋蔵文化財協議件数				単位	件		
内容説明		埋蔵文化財包蔵地範囲確認、遺跡取扱い協議等の件数								
指標値		5年度		6年度（当該年度）		7年度				
		予 定	1,000		1,000		800			
埋蔵文化財包蔵地に関する問い合わせが多くあることから、効果的な情報提供について検討が必要です。	実 績	925		786		――				
	活動指標4	名称					単位			
		内容説明								
		指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度			
予 定										
	実 績					――				

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度
					I：現状のまま継続
市地図情報サービス等で埋蔵文化財包蔵地を周知し、埋蔵文化財の各種届出に必要な情報提供、指定文化財の情報を提供します。また、開発に関する照会・協議に対応し、発掘調査についても理解をいただきながら業務を進めていきます					

事務事業名	民俗文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
民俗文化財			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	778	882	1,051
		人件費	1,502	1,538	1,538
目 的		総事業費	2,280	2,420	2,589
散逸しつつある民俗文化財を後世に伝えるために、それらを調査・整理・記録し、公開します。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		1,051
			合 計		1,051
手段、手法【実施手法：直営】					
収集民具を調査・実測し、記録を作成し、整理終了後に文化財調査報告書を刊行し、閲覧利用できるようにします。市域の古老から聞き取り調査を行い、伝承されている民俗について調査報告書として刊行します。					
成 果（効果・予測）					
市域の身近な歴史を市民が理解する上で欠くことのできない、さまざまな民俗資料について、調査・収集・整理などを行うことで、新たな歴史的事実を市民に提供するとともに、市民が活用できるようになります。					
課 題					
民俗分野での伝承者は高齢の方々が多く、民俗芸能・行事などが絶えてしまう恐れがあり、今後も早急な調査への取り組みを行う必要があります。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	収集している民具資料の記録および民俗芸能・行事等の伝承者からの聞き取り調査を実施しています。計画的に毎年少しずつ調査を行うことが大切で、集積したデータなどを記録保存し、調査成果を市民に提供していきます。					

事務事業名	史跡・天然記念物保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和38年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
史跡・天然記念物		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	2,812	1,126	3,766
	人件費	1,502	1,538	0
目 的	総事業費	4,314	2,664	3,766
市内に生息していた動物、植物、昆虫類の実物標本の適正な保存管理を行います。また、県・市指定天然記念物の樹木を管理します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・実物標本はつる舞の里歴史資料館で保管しています。 ・市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、風水害等の自然災害時に巡視を行います。 ・県指定天然記念物の土地所有者と賃貸借契約を締結し、日常の維持管理等の事業を市が実施します。 ・市所有の史跡・天然記念物の整備等を実施します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,766
		合 計		3,766
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	天然記念物管理件数	単位 件
		内容説明	ケヤキ2本、タブノキ、ハルニレ、シラカシ林	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	5
			実 績	5
成 果（効果・予測） 天然記念物（樹木）の保護や動植物標本資料を保存・活用することで、市民が市内の自然環境の変遷を理解できるようになります。	活動指標2	名称	標本管理件数	単位 件
		内容説明	昆虫標本、植物標本	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	2
			実 績	2
課 題 ・風水害等の自然災害時において、指定文化財の状況把握を含めた迅速な対応が求められます。 ・天然記念物の枯死や虫食い等による落枝や倒木の兆候が見られた際には、緊急対応が求められます。	活動指標3	名称	樹木診断	単位 件
		内容説明	樹木医による天然記念物（樹木）の樹木診断（年1本）	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	1
			実 績	1
	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	市指定天然記念物については、所有者と連絡を取り合い専門家のアドバイスを得て、良好な状態で樹木が生育できるようにしていきます。植物・昆虫標本についても適切な保存を継続します。					

事務事業名	指定文化財保護支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和38年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
指定文化財所有者		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	290	462	420
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	1,041	1,231	1,189
市指定重要文化財の保護と保存管理体制の充実を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 管理者へ補助金を交付します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		420
		合 計		420

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金交付件数		単位	件
	内容説明	市指定重要文化財の維持管理補助金交付件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	25	24	23
		実 績	22	22	— — —
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			— — —
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			— — —
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			— — —

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定文化財の管理に対する補助金を交付していきます。					

事務事業名	郷土民家園管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成06年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
郷土民家園		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	10,651	12,171	11,762
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	11,402	12,940	12,531
市指定文化財である郷土民家園施設を適切に維持管理します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・郷土民家園管理運営事業を指定管理者に委ねて実施します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		11,762
		合 計		11,762

3. 活動内容

活動指標1	名称	郷土民家園の来園者数			単位	人
	内容説明	園内の見学者数(自動カウンター)				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	55,000	55,000	55,000	
		実 績	29,181	30,903	―――	
活動指標2	名称	事業実施件数			単位	件
	内容説明	普及啓発事業の実施件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	30	30	30	
		実 績	32	38	―――	
活動指標3	名称	行事参加者数			単位	人
	内容説明	園内で行った事業への参加者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	13,000	13,000	13,000	
		実 績	9,753	10,121	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	指定管理者による管理・運営を継続します。また、指定管理者との連絡調整及び市が実施する施設修繕を適切に実施します。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館維持管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成10年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
つる舞の里歴史資料館		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	4,844	5,816	5,422
	人件費	4,096	3,845	3,845
目 的	総事業費	8,940	9,661	9,267
施設を適切に維持管理します。 手段、手法【実施手法：直営】 施設の日常的な維持・管理事務を行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,422
		合 計		5,422
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	運営管理施設数	単位 件
		内容説明	維持管理施設の数	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	1
			実 績	1
成 果（効果・予測） 市民が自由に入館し、展示物を観覧できる環境を維持します。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 資料保存環境を維持するため、施設・設備の計画的な修繕が必要です。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	施設の老朽化に伴い、修繕を始めとする必要な維持管理に努めるとともに、資料保存・資料見学・調査研究の機能を有する施設として、管理運営を進めていきます。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成10年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	2,349	3,489	3,757
	人件費	5,598	4,614	4,614
目 的	総事業費	7,947	8,103	8,371
市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・市北部の歴史資料を中心に調査・収集・展示公開するとともに、多様な文化財や歴史を紹介する特別展示、企画展示等を実施します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,757
		合 計		3,757

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	当年度利用者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	5,000	5,000	5,000	
		実 績	3,598	4,744	――	
活動指標2	名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展回数			単位	回
	内容説明	特別展示(旧 企画展示)及び三館合同企画展				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	――	
活動指標3	名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展入場者数			単位	人
	内容説明	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展の入場者数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	1,800	2,800	2,800	
		実 績	2,176	4,097	――	
活動指標4	名称	企画展示(旧 コーナー展示)回数			単位	回
	内容説明	年間実施の企画展示(旧 コーナー展示)開催回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3	2	2	
		実 績	3	2	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	地域の歴史資料保存という役目を果たしながら、常設展、企画展、講座等の事業を行い、郷土愛を醸成するための場となることを目指します。シリウスを会場とした特別展や講座を開催するなど、成果を高める取り組みを引き続き行います。					

事務事業名	有形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	205	205	205
		人件費	1,502	1,538	1,538
目 的		総事業費	1,707	1,743	1,743
有形文化財を適切に保存します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・古文書、その外の歴史資料の情報を整理して、データベースを作製します。 ・調査記録は順に文化財調査報告書として刊行します。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		205
			合 計		205
		3. 活動内容			
活動指標1	名称	歴史資料調査件数			単位 件
	内容説明	歴史資料の調査、整理作業の件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	2	2	2
		実 績	1	2	――
活動指標2	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
課 題					
有形文化財について順次調査を行い、記録保存するとともに、将来にわたり引き継いでいく必要があります。					

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	古文書・工芸品・建造物等の有形文化財については、劣化、散逸の可能性が年々高まっています。今後も継続して巡視、調査、記録しこれらの資料を市民共有の財産として将来へ継承していきます。				

事務事業名	無形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち	
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する	
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	261	484	621
		人件費	1,502	1,538	1,538
目 的		総事業費	1,763	2,022	2,159
伝承者の高齢化などにより、失われつつある無形民俗文化財を調査し、映像で記録・保存し、市民が活用できるようにします。 手段、手法【実施手法：直営】 市内に残る無形民俗文化財を調査し、その様子をビデオ映像として収録し、映像記録として保存を図ります。また映像を作品として編集し、市民に公開できるようにします。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		621
			合 計		621
3. 活動内容					
活動指標1	名称	撮影・編集件数			単位 件
	内容説明	映像記録を撮影または編集した件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	2	――
活動指標2	名称	企画・調査件数			単位 件
	内容説明	映像記録制作に向けた企画・調査の実施件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	2	――
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	社会生活の変化のなかで失われつつある無形民俗文化財を今後も映像として記録保存し、蓄積した映像記録を有効に市民に提供できるよう、映像作品を作成します。また、映像作品は無形民俗文化財の後継者などへの貸し出しや、普及啓発のために活用していただきます。				

事務事業名	文化財保管施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和56年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
文化財保管施設		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	1,263	1,285	1,260
	人件費	751	769	769
目 的	総事業費	2,014	2,054	2,029
市が所有・管理する文化財を施設に収蔵し適切に保管します。また、資料整理の拠点として活用します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 施設の維持管理を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,260
		合 計		1,260

3. 活動内容

活動指標1	名称	維持管理施設棟数		単位	件
	内容説明	維持管理施設棟数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	2	2	2
		実 績	2	2	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	適切な維持管理を行っていきます。					

事務事業名	スポーツ・よか・みどり財団支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費 (単位：千円)			
交付先：（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
		事業費	135,263	140,729	141,031
		人件費	2,253	3,076	1,538
目 的		総事業費	137,516	143,805	142,569
(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援します。		7年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 (公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営費に対して、補助金を交付します。			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		141,031
			合 計		141,031
3. 活動内容					
活動指標1	名称	補助金交付回数			単位 回
	内容説明	一年間に補助金を交付した回数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	1	---
活動指標2	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	公益財団法人として、担うべき役割を明確にし、効率的かつ継続的な経営基盤を確保するための事業展開や人員配置の実現について、情報共有、指導及び助言を行っていきます。				

事務事業名	下鶴間ふるさと館維持管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成17年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	5,215	4,990	2,748
	人件費	4,483	4,614	4,614
目 的	総事業費	9,698	9,604	7,362
市民が地域史を学べたり、昔の暮らしに親しめるようにします。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		79
		一般財源		2,669
		合 計		2,748
手段、手法【実施手法：直営】				
・指定重要文化財の旧小倉家住宅母屋と土蔵を適切に管理します。				
・通常は母屋と土蔵の外観のみを公開し、月に2回母屋				

内部を公開します。		3. 活動内容							
・館内の広場は市民の憩いのスペースとして開館日の日中に開放します。		活動指標1		名称	運営管理施設数			単位	棟
				内容説明	維持管理施設の数				
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	3	3	3	
・市域に伝わる年中行事展示等の事業を行います。		活動指標2		指標値	実 績		3	3	— — —
				名称	入館者数			単位	人
				内容説明	入館した人数				
・矢倉沢往還（大山街道）の下鶴間宿に現地復原された江戸時代の商家建築を市民共有の財産として未来へ伝えることができます。		活動指標3		指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	5,800	5,800	5,800	
				指標値	実 績		4,246	4,329	— — —
・市民は江戸時代の商家と宿場の雰囲気を感じたり、民俗行事等を知ること、地域史学習のきっかけを得ることができます。		活動指標4		名称	企画展示・事業回数			単位	回
				内容説明	企画展、三館合同企画展、企画事業の回数				
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	6	6	6	
地域に根差した、にぎわいのある資料館として存在できるよう、地域の方々にとって利用しやすい施設であることが求められています。		活動指標5		指標値	実 績		6	8	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
課 題		活動指標6		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標7		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標8		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標9		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標10		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標11		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標12		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標13		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標14		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標15		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標16		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標17		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標18		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標19		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標20		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標21		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標22		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標23		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標24		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標25		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標26		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標27		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標28		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標29		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標30		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標31		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標32		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標33		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標34		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標35		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標36		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標37		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標38		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標39		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標40		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標41		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標42		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標43		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標44		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標45		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標46		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標47		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標48		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標49		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標50		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標51		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標52		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標53		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標54		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標55		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標56		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標57		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標58		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標59		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標60		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標61		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標62		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標63		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標64		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標65		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標66		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標67		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標68		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標69		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標70		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標71		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標72		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標73		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標74		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標75		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標76		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標77		指標値	実 績		9	9	— — —
				指標値	5年度		6年度（当該年度）		7年度
					予 定	9	9	9	
		活動指標78		指標値	実 績		9		

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	年中行事等の展示は継続しつつ、中核建物である旧小倉家住宅母屋の内部公開日を月2回とすることで、人件費等の施設運営経費を見直します。庭にテーブルや椅子を配置し、季節ごとの修景を行うなど、市民が憩い親しめる施設となるよう工夫を行います。					

事務事業名	歴史資料提供・相談事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	公文書館法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民、職員			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	0	0	0		
		人件費	1,115	769	769		
目 的		総事業費	1,115	769	769		
地域の歴史・地誌・各種映像記録などについての照会・利用相談に対し回答します。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		0			
		合 計		0			
手段、手法【実施手法：直営】							
収集資料や刊行物に基づき回答、又は資料を紹介し、要望に応じてコピー配布をしたり、フィルムなどの貸し出しを行います。		3. 活動内容					
		活動指標1	名称	資料情報提供件数		単位	件
			内容説明	資料、地図、写真などの貸出および情報提供件数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	30	30	30
実 績	40			31	— — —		
成 果（効果・予測）							
身の回りの歴史を学びたいという市民の意欲に応え、歴史的知識を高める手助けができます。また、市民・職員は各種の歴史資料や歴史情報、行政経過を受け取ることができるようになり、企業・個人事業者は地歴・建物についての情報を得られるようになります。		活動指標2	名称			単位	
			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
				実 績			— — —
課 題		活動指標3	名称			単位	
歴史資料に関する問い合わせに対し、迅速に対応することが求められます。	内容説明						
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定				
			実 績			— — —	
			活動指標4	名称			単位
	内容説明						
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定					
		実 績				— — —	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続	6年度	Ⅰ：現状のまま継続
	収集した歴史情報を必要に応じて提供します。また、問い合わせ内容と回答の情報を集約し、今後の事業に役立てます。					

事務事業名	文化芸術振興基本計画進行管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち			
	個別目標		薫り高い文化芸術を創造・継承する			
	めざす成果		文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成23年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市文化芸術振興基本計画		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	416	358	363
	人件費	5,257	5,383	3,076
目 的	総事業費	5,673	5,741	3,439
文化芸術振興のための施策を効果的に推進します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・文化芸術振興基本計画の進行管理、改定に関する審議を行うため、文化芸術振興審議会を開催します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		363
		合 計		363

3. 活動内容

活動指標1	名称	文化芸術振興審議会の開催回数			単位	回
	内容説明	文化芸術振興審議会の開催回数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	5	5	3	
		実 績	3	5	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	文化芸術振興審議会での審議等を踏まえ、今後も、施策目標の達成に向けた取り組みを着実に推進していきます。					

事務事業名	文化創造担い手育成事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
芸術活動を行う若手アーティスト		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	2,017	2,454	0
	人件費	4,506	4,614	0
目 的	総事業費	6,523	7,068	0
これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動の支援を行うとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・公募型の「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」を開催します。 ・コンペ入賞者の作品等を活用して、イラストレーションを日常の生活空間の中に取り入れる取り組みを行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容

活動指標1	名称	YAMATOイラストデザインコンペ作品数		単位	点
	内容説明	YAMATOイラストデザインコンペに応募のあった作品数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	500	500	0
		実 績	428	460	――
活動指標2	名称	作品展等の開催回数		単位	回
	内容説明	イラストレーションに関するイベント・展覧会の開催回数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	1	0
		実 績	1	1	――
活動指標3	名称	コンペ入賞者等の制作依頼件数		単位	件
	内容説明	コンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	20	20	0
		実 績	18	31	――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	Ⅲ：廃止または終了
	事業見直しによりイラストレーションデザインコンペは一旦休止としますが、入賞者のイラスト活用については、引き続き文化芸術振興事業で進めていきます。					